

# 民間の収知と力で 新しい文化基金の設立を

服部

正 ▲大阪府立大学教授▽

森本

泰好 ▲神戸地下街株式会社専務取締役▽

永田

良一郎 ▲株式会社永田良介商店社長▽

中西

勝 ▲画家▽

名生

春生 ▲画家▽

昭雄 ▲兵庫県立鈴蘭台西高校教諭▽



永田 良一郎さん



森本 泰好さん



中西 勝さん



石阪 春生さん



名生 昭雄さん



永田 良一郎さん

——小誌は昭和四十五年に創刊十周年を記念して「ブルーメール賞」を設定し、文学・音楽・美術・舞台芸術・ファッショニの五部門にわたって活躍の目覚しい新人を対象に顕彰してきました。昨年、小誌の活動に対して井植文化賞地域活動部門、サントリー地域文化賞を頂きましたが、これを機に市民の共有財産として文化ファンド（基金）をつくりあげたいと考えています。

民間サイドにおける文化ファンドの積極的な運用によって、市民文化を育て、より質の高いものへとレベルアップをしていくことが、二十一世紀に神戸が国際文化都市として発展していくにあたって、何より必要なことだと思います。具体的には、「財団法人ブルーメール文化基金」（仮称）設立のために今後、各界の力を結集してまいりますが、今回は第一段階として文化基金の理念についてお話ををお願いいたします。

### 文化は本来、民間の活力が生み出すものだ

森本 最近、政府も地方自治体も文化については積極的に取り組んでいます。過去においては考えられなかつて良いことなんですが、行きすぎると官製文化になつてしまふ。本来、文化は民間の手にあるべきだし、何もかも行政でということになると困る。今回、「月刊神戸つ子」が提唱した民間主導型の文化基金づくりは大変望ましいことです。神戸は確かに文化現象として新しいものがいろいろ出てくるが蓄積として残つてしませんね。これはやはり経済力が伴わないので、成熟社会に入ると都市としての発言力を決定する上で文化度が大きな要素になるわけですが、それを裏打ちするには経済力が必要です。それがないために優秀な作家がどんどん外へ出てしまう。この文化基金が一つの歯止めになると同時に、神戸の企業が利益の地域への還元として文化活動への援助をもっと積極的に行なうための刺激となればいいですね。

永田 文化ファンドの蓄積という趣旨は大変結構だと思

います。従来、神戸という町は文化に対する個々の関心はあるのだが全体のまとまりが十分でなかった。これが文化不毛の地みたいなところをされたいた根拠ですね。それと京阪神の他の都市との関係をみた場合、何といつても大阪の牽引力は強いから何でも取られてしまふ。歴史的なものとなると京都に敵わない。よく言えば三都市が機能分担していく、神戸に文化的なものがなくともよいという感じがあった。もちろん、神戸に文化が育たなくてよいかと言うと、そんなことはない。ただ京都、大阪に負けるなどいう発想でなく、京阪神を一つの都市圏として互いに補完しあうような方向でいくべきでしょうね。京都や大阪にはないもの、いかにも神戸らしい独自の文化を形成していくかなくては駄目です。言うべきして難しいのですが京阪神の相関性という問題は避けて通れませんね。

中西 私は文化の大衆化ということを最近、考えているんです。たとえばグレニジビレッジの汚ない喫茶店で青年がギターを弾き語りしている。昨日覚えたばかりとい

う程度の技量で歌も下手くそだけど、周りは人が歌うのなら聴くべきだという深い人間愛が包んでいる。日本ならば直ちに「音痴」とか野次がとぶでしよう。こういう人間の尊厳を大切にする態度を神戸にも広めたいですね。これは個々の文化レベル以前の基本的な問題点です。やはり人間そのものを大切にするという心がなくては駄目なんです。「博物館がないと神戸の恥」というふうな言い方をする人がよくいるけれど、そういう発想は本来の文化創造とはちがうと思うんですね。

今度、「芸術広場」という新聞を作りまして、そこでいくつか提案をしました。絵の場合、展覧会は大体一週間くらいで権威のある画廊で開いたとしても見に来ても見える人はたかが知れている。ところが展覧会には必ず未発表のものを出すべきである、というような規定が一方である。本であればベストセラーになれば何十万もの人に見てもらえるわけで、これはナンセンスだ。神戸

で出展したものを大阪にも東京にも出せるようにするべきだと提言して、これは実現しました。

もう一つは、詩人たちと共同で同人新聞的なものを夏に提出したい。日頃、詩の本の装幀をしたり挿絵を書いたりして一緒に仕事をしているが、忙しくて本の中身まで一緒に仕事をしているが、忙しくて本の中身まで読まないし詩人の側も展覧会には来ない。もっと交流が必要なんですね。

神戸は本当の意味の文化都市になるためには、やらないといけないことが一杯ありますね。どうすればもっとよい文化を生みだせるか、いろいろな人が収集を集めて相談し合う場所と時間が必要ですね。文化賞はあるけれど、何となく今年は入選させるような良い作品がないなというのでは困る。絵もよい、音楽もすばらしい、町の中での演劇も超満員という活気を生み出したいですね。

服部 いつも言うことなんですが、文化とは本質的に非体制のものなんです。私自身いくつかの自治体が設定する文化賞的なものの審査に加わっていますが、行政のものは無色で公平なようでいて案外そうではない。いろいろな制約があるんです。今日もここへ来る前に松本行雄さんの出版記念会に寄ってきましたが、「荒神山の無縁墓地」という大変な労作です。日曜ごとに山に登つて千何百という墓石の戒名をすべて洗い出したわけです。面白くて、ロマンがあつて、温かみのある良い仕事なんですが、行政の立場では拾いあげるのは難しいでしょう。行政は学界での評価はどうかということをまず気にする。ちょっと在野的な人を推すと「大丈夫でしようか」と心配する。行政を目の敵にする必要はまったくないが新しい文化基金の中では、行政のできない分野を埋めていくという姿勢が必要ですね。

名生 行政のやることに対する、まだ一般市民の側では「お上」<sup>（おじさん）</sup>という意識が強いでしょう。ドロドロした生活の中から生まれてくる文化というのは随分あるのに、行政の扱う場合は平均的できれいごとにされることが多いですね。ところが民間が文化を支えるということに対

して、市民の感覚は非常に弱いですね。長い徳川時代に培われたものでしようが、日本人の歴史的体質になってしまっている。昔の兵庫には堺や博多と同様に自治制度があつたんです。これはごく異例なことです。世界に目を向けた港町として、市民の間に昔から自由、自治への憧れがあり、新しい文化を生み出してきた。為政者がこれを盗みとり政治の道具に使うようになると、ぐつと閉鎖的に押さえつけてしまう。鉄砲の伝来にしてもそうですね。最後に徳川家の手で天下が統一されると堺は押さえられました。それは余談ですが、神戸のもつ土壤はこれから先、非常に大切です。上方風といふことを踏まえながら世界の文化の取り入れ口になる。民衆の中の文化活動の拠点となりうる町です。それだけに、市民の手による文化ファンの設立ということでも先鞭をつけたんですね。

森本 先ほど作家が神戸に定着しないという話をしましたが、アメリカでも同じようなことはあるんです。ニューヨークへ出たがる人が多いんですが、その場合に地元に住むことを条件に資金援助するという方法がとられているそうです。特定の作家を援助する以外に、有力な劇団の公演を援助して多勢の人々に安い入場料で提供するという方法もあります。神戸でも神戸においては一流の音楽も聴け、展覧会もあり、演劇も見られるという形にしていく必要があります。前に西オーストリアのパースへ行った時、たまたまロイヤルバレエ団の巡回公演に出会いました。地元の銀行がスポンサーになつていて一階の中央の席で見たのですが二十五ドルでした。今度、神戸に来ますが一万円を超える入場料でしょう。その代わりにプロограмにも堂々と広告を入れ、銀行の責任者のあいさつが劇団のリーダーと肩を並べて入っている。日本人はそのへんが潔癖というか妙に気を使いますね。筋の通ったものなら堂々と援助をしてもらえばいいと思いますよ。

石阪 その場合、広告のデザインなども全体のイメージ

を損わないよう工夫してほしいですね。つまり、その公演自体の文化的意義をよく理解したうえで、うまく調和させていく。そうなつて来ると、その企業の文化程度も問われてきますね。

#### 既成の賞にはない魅力あるものを

服部 文化と一口に表現しますが、とても中身は幅広くなっていますね。どの領域でも、プロとアマの区別がなくなつて、あらゆる人がタレント性やアビリティを持つ時代ですね。大学の教授も一般から公募するのが普通のようになりましたし、一つの分野でずっと育つた人がプロだとは言えなくなつていて。そうなると、現在のメール賞はジャンルを決めているわけですが、どれにも属さないものに光をあてるという形も欲しい。たとえばフランス人のジャン・マルオー神父の『グルメぶり』に賞をあげてもよいし、極言すればこれが文化だろうかというのもいい。途方もない遊びと危険性を含んだものであつてほしい。

森本 文化活動をやる人たちの顕彰の場としては県や市の文化賞があるんですが、市の文化奨励賞を除くと大家の永年の功績に対し表彰するという形で。地方の賞が中央で評価された人を追認するというのは、少々みつともない。多少冒険でも将来に期待のもてる新人の発掘を中心に行なうのですが、行政の側からすると議会の承認やら何やらあって無難な評価にならざるをえない。そのあたり民間サイドの運動としては、理念の中心に置いていくといつ思います。

中西 エロス芸術の権威者である山本芳樹さんが、二紀会に賞を出してくれたんですが、神戸ではボルノとかエロチシズムを手がける作家も少ないし、まだそういう傾向のものを一段低くみるような風潮が残っているでしょう。何か神戸はちんまりまとまつていて感じをうけますね。

服部 たとえば「バイロス画集」や「ロップス画集」な

どエロス芸術の分野で独自の出版活動をつづけている奢瀬都館に賞を贈るとか、そんなアウトサイダー的な冒険も欲しくですね。何も奇をてらう必要はないけれど、今まで文化とは言われなかつたものにも目を向ける必要は出でています。

石阪 劇画なども今までにないメディアとして確立されていますね。劇画は視角志向で、絵画でも映画でも小説でもない。僕にはちょっとと読めませんが、若い人の感性はとても鋭いですね。大きさにいうと人種が違つてきてる。ここからが芸術、ここから漫画という区別は若い人の間にはないですね。感動の種類がちがうのかな。それでいて、どこかシラケていて自己コントロールがうまくい。

森本 世代間のカルチャーショックというのは確かにありますね。活字文化と映像文化とで育つたものの差とでも言うのでしょうか。

名生 学校でも漫画のない教室というのは考えられませんね。日本史の教科書を読むより、白戸三平の「カムイ伝」の方がよく頭に入つていく。

中西 コンピューターを使って油絵を描くというような試みも出でている時代ですからね。そういうことを全部含めた上で、一番新しいものを時には開拓してみるということもあるつていいですね。活字文化の我々と感性世代との橋わたしなるかもしれない。

森本 そこで賞の選考過程を必ず公表するといいですね大論争をやって、片方ではこんなものが文化かと疑問を提示する人がいてもよい。最初に基金の哲学を明快に打ち出しておくべきですね。

#### 何よりも基礎を固めることから出発

永田 まず何といっても基金集めをどうするか。組織づくりをどう進めるかというのが当面の問題ですね。水をさすわけではないけれど、簡単にできるものなら今までにできているわけで、基礎からじっくり考えていかなく

てはいけない。市民の間から的一口カンパをというアイデアも考えられますが、実際にやるとなると経費と利益とが必ずしもペイしない。企業の利益を還元してというのは口では皆さんおっしゃるけれど、なかなか実行できない。神戸の企業にまだそこまでの蓄積やゆとりがないとも言えるし、トップの方がどれだけ現段階で発想の転換ができるかにもよりますね。財界でも一般に、神戸には文化は育たんものという先入観をもっている。これに對していや神戸でもやるべきなんだという説得力を持つことが大切です。いつたん旗上げしたら途中でおろすわけにはいかない。十分に内容を煮つめた上で出発しないといけませんね。

**森本** 今でこそファッショニ産業が脚光を浴びていますが、神戸の産業は戦前から鉄鋼、造船といった重工業主導でしよう。現実の問題として市民生活と直接のかかわりを持たなかつた。現在では第三次産業にウエートが変わりつつあり体質も変わりつつありますね。電通の出している「一九八三年の予言フラッシュ」を見ても、今後の企業は文化への認識がなくてはP.R.戦略が立てられないところへ来ている。ただ日本の場合に問題なのは税制上の扱いです。アメリカなどでは文化活動への資金援助は経費として認められているのに、日本では公のものへの寄付以外は課税の対象になるんです。

**石坂** 現代アートの分野の話ですが、ドイツである作家が地下に穴を掘っている。石油会社がスポンサーになつて、掘り続けなさいというわけです。穴の何もない空間を買うわけで随分面白いことをするなと思うんですが、企業のテーマと通ずるところがあるんでしようね、企業の側に神戸で活動して利益をあげたら何割かを地元に還元してもらう、その中身は文化活動へ向けてもらうようにしようというのは全くその通りなんですが、どうしてよいか分らない企業もあります。一社だけの力では無理ということがある。その受け皿を市民サイドでつくつてあげることが大事です。基金さえ多く集まれば

ば、従来のブルーメール賞だけでなく、もっとスケールのある活動が展開できるわけで期待するところが大きいです。

**名生** 企業も一般市民も、きちんとした筋道で訴えれば賛同していただけると思います。貧者の一灯というようなものを含めて大きな運動にしていくべきです。奈良の大仏殿の瓦を裏返すと人の名前が出てくるでしょう。あれは昔の人の知恵ですが、協力していただいた人の記録をどこかできちんと残すことも考えなくてはいけませんね。

**中西** 昨年の秋にさんちか広場でチャリティー美術展をやりましたが、あの催しには作家たちも大変喜んで参加しました。具体的に基金をどうやって集めるかという話になりますと、地元企業にお願いしたり、一口一千万円という規模で市民の浄財を集めたり、いろいろ方法はあるでしょうが、作家は作家の立場で協力していくかと思うんです。絵だけに限らず文学、芸能、その他いろんなジャンルがありますから、草の根運動として多様な催しを進めていくといい。運動それ自体が市民の文化への関心を掘り起こすことにつなげば、方法それ自身を文化的・美術的にやつてほしいですね。一つの例ですが、いまのブルーメール賞の美術部門をみても、選考委員は批評家の方ばかりでしよう。あれは非文化的だと思いますね。作家も一般の人も、いろんな人が集まつてそれが収集を寄せ集めるということが大切なんですよ。前に二紀会では大衆賞というのを設けていました、各々の絵を写真にとって会場の隅に貼つておくんです。絵を見に来られた方が気に入った写真の上に画鋲を押していく。二十代は黄色の画鋲、三十代は赤の……と色分けしておくと、年代による偏りがあつたり、専門家の出す他の賞と全く別の結果が出たり、随分見方が違つてくる。専門家だけというのでは深みのある文化は形成できませ

**田崎真珠株**

取締役社長 田崎 梢作  
神戸市中央区旗塚通 6—3—10  
TEL (078) 231—3321

**オールスタイル株**

取締役社長 川上 勉  
神戸市中央区伊藤町121  
TEL (078) 321—2111

**カネボウベルエイシー株**

取締役社長 稲岡 必三  
神戸市中央区三宮町1丁目9—1—807  
センター・プラザ東館8F  
TEL (078) 392—2101

**㈱ベニヤ**

取締役社長 松谷 富士男  
神戸市中央区三宮町1丁目10—1  
TEL (078) 332—3155

**モロゾフ株**

取締役社長 萩野 友太郎  
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号  
TEL (078) 851—1594



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の企画は以上5社の提供によるものです。

## 経済ポケット ジャーナル



広大な西神工業団地。建設が進んでいる。



約150億円の見込みである。

★甲南漬の高嶋酒類食品が

「百年のあゆみ」を発行

甲南漬おなじみの高嶋

酒類食品株(高嶋平介社長)

は、昭和56年6月創立50周

年を迎えたが、これを機に

甲南漬おなじみの高嶋

酒類食品株(高嶋平介社長)

★縁と太陽の西神工業団地  
神戸市が西区に建設中の  
西神工業団地は、神戸にな  
い先端的な企業を誘致しよ  
うとの狙い通り、現在松下  
電器産業、日本電気、小松  
フォーランプト、ミノルタ  
カーメラ、川崎重工業など大  
手企業を含めて96社の進出  
が決定。うち国際試薬、西

が出現する見込みで、この團  
地が、神戸の産業構造の高  
度化をはかり、地域経済沈  
下のストップとなること  
が大いに期待されている。

★米総領事館跡地  
南インター・ナショナルに  
神戸市内の在日外國公館  
の中でも最も長い歴史を持つ  
アメリカ総領事館が、大阪  
へ移転。その建設を南イン

ター・ナショナル(南泰

南担当するこ

ととなつた。大阪・北区の

新庁舎及び苦楽園に移る領

事館員宿舎を建設し、神戸

の領事館及び宿舎跡地(計

4,700m<sup>2</sup>)を南インタ

ー・ナショナルが引取るとい

うもの。跡地の用途はまだ

決定しておらず現在検討中

であるが、神戸にふさわし

い建物を建設して、有効利

用をはかりたい意向だ。

このプロジェクトの総額

★シンエーフィーブ  
新趣向の仮料理店を展開  
外食産業の雄、シンエーフ  
ィーブ株式会社(田中教仁  
社長)が、新店舗「ラ・タ

★K O B E オ フ ィ ス レ デ イ

上田 多紀さん(21)

「デザイン関係の仕事につくのが夢だ  
ったんです」と開口一番。同社の宣伝広  
告部門を常務以下3名でまとめている。

家庭的な職場の雰囲気に囲まれてか、と  
ても一年生社員とは思えない活躍ぶり。

スキー、ヨットは2級の腕前。一見そう

見えぬ所がまた凄い。桑田佳祐が理想の

タイプだが30才までは何故か結婚はおあ  
づけであるとか。残念……。尼崎市出身。

上田 多紀さん(21)  
つかねてつ食品

「デザイン関係の仕事につくのが夢だ  
ったんです」と開口一番。同社の宣伝広  
告部門を常務以下3名でまとめている。

家庭的な職場の雰囲気に囲まれてか、と  
ても一年生社員とは思えない活躍ぶり。

ベルン」の第一号店を大阪  
・曾根崎町の東海銀行ビル  
9階に3月1日オープンす  
る。

バトリーク・ランヌさん  
ス 調理界  
のホーリ  
ーで、カオールのアンバサダ  
と称されるシェフ、パトリ  
ック・ランヌと提携。パト  
リックさんがカオールで開  
いている「ラ・タベルン」  
の店そのままを再現。カオ  
ールはトリフやフォアグラ  
の産地でもあり、手頃な価  
格で本物のフランス料理を  
提供するのがねらい。客席  
70の他、宴会場、喫茶・バ  
ーのラウンジも広く、価格  
帯はコースで2,500円  
から6,500円、アラカ  
ルトも多い。カオールフェ  
アなどイベントも各種予定  
されている。

「デザイン関係の仕事につくのが夢だ  
ったんです」と開口一番。同社の宣伝広  
告部門を常務以下3名でまとめている。

家庭的な職場の雰囲気に囲まれてか、と  
ても一年生社員とは思えない活躍ぶり。

スキー、ヨットは2級の腕前。一見そう

見えぬ所がまた凄い。桑田佳祐が理想の

タイプだが30才までは何故か結婚はおあ  
づけであるとか。残念……。尼崎市出身。

KOBE  
CONVENTION  
SPOT

●コンベンション都市・神戸の最新情報

# 県下の頭脳を乗せて いよいよ船出 汎太平洋フォーラム

★汎太平洋フォーラム発足

初代理事長に新野教授が

太平洋と太平洋に係りを持つ国

における自然と人間に関係する問

題について情報、意見を交換し、

学問・文化・経済等を発展させる

ために寄与することを目的として

兵庫県内の大学が共同で研究する

★21世紀は太平洋の時代

新野教授は「新興工業国が多く  
は太平洋に面しており、これらの  
諸国は次第に力をつけて、21世紀に  
は世界のリーダーシップをとるで  
ある」と予測する。また資源開  
発の面においても、各国の目は海  
洋に向かっており、太平洋は  
新しい時代を築くための重要な研  
究対象といえる。

石光享・神戸大経済学部教授が  
設立総会で行った記念講演の中か



理事長に選ばれた新野幸次郎教授

学院大、甲南大の関係者のはか兵  
庫県、神戸市、神戸商工会議所な  
どの代表ら約80名が出席。初代理  
事長には、準備段階から代表世話  
人として、各大学の橋渡しに奔走  
した新野幸次郎・神戸大学経済学  
部教授が選ばれた。

顧問代表の堺天義久・神戸大学

長は「国際都市神戸にこのような  
自由参加で学術研究できる場がで  
きたことは意義深い」と述べ、山  
田昇一・神商議専務理事も積極的  
にサポートする意志を示した。

★いすれは

国際コンベンションにまで発展  
汎太平洋フォーラムの事務局は  
神戸大に置かれ、太平洋知識の普  
及をはかるための講演会、シンポ  
ジウムの開催及び広報誌の発行など  
諸々の事業を行なう予定。

また今後参加大学の輪をさらに  
広げ、国際港都・神戸にふさわし  
い研究や情報提供をしながら、国  
際的なシンポジウムまで昇華させ  
たい意向である。

兵庫県下8大学から130名の  
学者が参加し、あらゆる分野の研  
究を大学の枠を越えて学際的に進  
めようとするこのフォーラム。全  
国でも例のない試みだけに、注目  
を浴びている。

らの実例を引用する方がわかりやす  
い。太平洋は世界最大の面積を  
誇り、世界の陸地合計よりも広  
い。その太平洋をめぐる諸国が数  
は39で、世界の約 $\frac{1}{4}$ に該当する。  
また人口をみるとこれら諸国で約  
20億となり、世界の $\frac{1}{2}$ 近くを占め  
ることになる。数字的にもその重  
要性が裏付けされ、将来への可能  
性を秘めた「汎太平洋」が、熱い  
視線を浴びるのも理解できよう。

THE ARIMA SPA  
IN MAR.

# 湯の街

## 有馬歳時記

★観光客の声を反映して

さらに魅力のある有馬温泉に  
有馬温泉では、昨夏、ホテル・旅館の  
宿泊客を対象とした「湯けむりキャンペ  
ーン」を実施した。回答は約一万二千人  
から寄せられたが、今月はその結果の紹  
介と、有馬温泉の今後の町づくりを考え  
てみたい。

A 有馬から受けけるイメージは?

ベスト5をあげると、『静かで落ちつ  
いている』、『良質の温泉』、『緑が美しい』  
『都会に近い奥座敷』、『古い歴史のある  
温泉』の順となる。これは、これまでに  
有馬温泉について言われて来たイメージ  
をほぼ追認したとの感がある。

有馬温泉観光協会青年部顧問の弓削敏  
行さんも「ほぼ予想通りで、われわれが  
売り物にしていた有馬温泉のイメージが  
定着して来た」と分析する。

B 有馬にあればいいと思われるものは?

ところでは昨年オープンした「炭酸泉公  
園」湯けむり広場がある。では、さ  
にどういうものがあればいいのか?

数字の多かった順に並べると、「レジ  
ヤーランド」「遊園地・公園（子供の遊び  
場）」「公共の大プール」「スポーツセン  
ター」「テニスコート」となる。面白いのは、  
『露天風呂』や『公共の大浴場』への  
要望がかなりあるということだ。

この点について弓削さんは、「アンケートをとったのが夏休み期間中  
だったので、ファミリー客が相対的に多く、子供たちがゆっくりと時間の過ごせ  
るレジャー施設への要望が強かつたのは  
当然だと思います。また、テニスコート  
やスポーツ施設に関しては、昨今のスポ  
ーツブームを反映しての結果でしょう。  
大ブルーについても、夏ならではの要望  
ですが、各ホテルに備えつけられたブル  
ーでは、日帰りの客が十分に使うことが  
出来ないという不満があるのかも分りま  
せんね。」

ところが本来の温泉については、ちょ  
うとした発見がありました。普通、温泉  
のイメージには露天風呂がつきものです  
が、ご承知のように有馬温泉にはありま  
せん。その露天風呂への要望が意外に強  
かつた。これはわれわれが見過してい  
た点ですね。また、公共の大浴場の要望  
もかなりありましたが、確かに、その点  
有馬温泉は城崎や道後にくらべると不備  
で、温泉会館が一軒あるだけですね。そ  
のあたりに不満があるのでしよう」

C 年齢別、地域別では?

有馬の歴史を語り続ける「いで湯の宿」

**銀水荘**  
別館 楽山 TEL (078) 904-0622  
別館 光楽 TEL (078) 904-3656

欽山は典雅な  
日本風の館です  
国際観光旅館



**欽山**  
TEL (078) 904-0701

敷地内から湧き出る  
日本最古の温泉“有馬温泉”  
阪急ホテルチェーン

**有馬ビューホテル**  
TEL (078) 904-2295

温泉と演芸と遊技場

**有馬ヘルスセンター**  
TEL (078) 904-2291

雅ただようくつろぎの館

**中の丸珠苑**  
TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで

**有馬グランドホテル**  
TEL (078) 904-0181

今度は観点を変えて年齢別、地域別に見てみよう。

年齢別では、14歳までが18・9%、15歳から24歳までが14・1%、25歳から34歳までが8・9%、35歳から44歳までが28・9%、45歳から59歳までが17・8%、60歳以上が11・4%という結果である。

地域別では、やはり関西が70%を占めているが（兵庫県34・7%、大阪府31・8%、京都府6・6%、奈良2・2%など）、愛知県4・4%、東京3・2%と



有馬温泉の新旧の名所。湯けむり広場（左）と炭酸泉公園（右）

関東勢も多い。全体では、北は北海道から南は鹿児島まで、全国から有馬温泉を訪れている。有馬温泉の知名度がかなり侵透しているようだ。

さて、では、これらのアンケートの結果をどう今後の町づくりに生かせばいいか。弓削さんは次のように話す。

「模索中ですが、一つのイメージが固定しては困ります。とくに将来とも長くつき合うことになるという意味で、若者にターゲットを絞ったキャンペーンや施設の建設が必要です。かと言つて、従来からの有馬のよさを壊すわけには行かない昔ながらの良いものと、新しいものの調和のとれた発展が大きな課題だと思います。客の嗜好の多様化にともない、どこにターゲットを絞ればいいのか、なかなか難しいですね」

今春には、行政マンや学識経験者らを交じえた十カ年計画の準備委員会が発足する予定であり、また、一月中旬からアンケート第二弾もスタートした。出来れば一ヵ月に一回ほどの割合でアンケートを実施し、宿泊客の声をどしどしと町づくりに採り入れて行く計画だそうだ。

春を迎えて有馬温泉には活気がみなぎっている。

△アンケート項目▽1、今回の御旅行は…。A 家族旅行、B 新婚・旧婚旅行、C ビジネス旅行、D 団体旅行、E グループ旅行、F その他の、G 有馬へは何でお越しになりましたか？ A 関西バス、B マイカー、C 電車、D バス、E タクシー、F ロードウェイ G 歩歩。3、御旅行をされるまでの有馬から受けれるイメージをお聞かせ下さい。4、有馬温泉にあればいいと思われるものをお聞かせ下さい。5、有馬の周辺は観光地であるとのお好きな所はどこですか？ 6、御宿泊後の有馬温泉への御意見、御感想をお聞かせください。以上。

結婚式場を完備しています  
伝統と格式を誇る  
**兵 漢 向陽閣**  
景勝高台の近代旅館  
TEL (078) 904-0501代

テニスでいい汗  
いい湯にとっぷり  
味に集う  
**Sunny Side up**  
有馬ひんせんテニスクラブ  
TEL (078) 903-1024  
木造りの宿  
**御所坊**  
TEL (078) 904-0551

自然の恵みを  
湯けむりに伝える  
政府登録国際観光旅館  
**古尔岡**  
TEL (078) 904-0731

旅は出会い  
ほのぼの心を添えて  
政府登録(登旅第78号)  
**月光園**  
神戸市北区有馬町318  
TEL (078) 904-0366

# 本物志向に徹底した 正統派ファッショニ

サン・ミヨシヤへ天野武文デザイナーを訪ねて



ヨーガと瞑想が趣味の天野さん



ダンディな瀧社長

珍しく正統派のファッショニですね。

天野「着易く、ルーズな服が流行っていますが、私の考え方としては、基本的にベーシックで素材の品質が良いものを心がけています。シルエットの美しさを大切にしたいので一五〇～一七〇センチまでの女性には少しの補正でも最高のバランスで着て頂ける服を創っています。

今迄はシャネルスーツとブラウスの組み合わせ等セットでお求め頂く場合が多かったのですが、個性的な着こなしが楽しめるよう、例えばジャケットだけの単品売りも始めました」

瀧「先生の洋服は、色といい、デザインといいとても神戸的でみよしやの呉服のお客さまにも好評です」

——サン・ミヨシヤとの出会いは、どんなきっかけがあつたのですか。

天野「私は各都市に一店舗ずつぐらい、商品を置いて頂いていますが、神戸はまだ契約がなかったんです。神戸は以前から好きな街で元町からセンター街、北野町界隈と歩いてみたときに、この店が素敵だなあと思って飛び込んだんです。最高に理解のある社長さんですよ(笑)」

——神戸のどんなところがお好きなんでしょう。

天野「私は横浜生まれなので港町という共通点があるからでしょうね。一種独特的な街がかもし出す雰囲気が好きです。女性のセンスが高いのもいいところでしよう(笑)」



——今年の春・夏物はどんな特徴があるのですか。

天野「黒・紺・白が今迄の基本ですが、グリーン・紫・グレー等多色化と、いわゆる外出着だけでなく、ちょっとタウン的なものも出しています。変化が少ない中にもイメージの仕事ですから、新しさを感じられるエクサイティングなものも必要ですね。素材は今回のコレクションも三分の一以上が、サンローランがパリコレで使った布地を使っているんですよ」

——良い素材を用いることに神経を使っておられますね

天野「布地はジバンシー、サンローラン、シェレルとディオールのオートクチュール、シャネルスースにはココシャネルの布地もよく使います。これらの布地から私が選ぶ色に個性がでるんですね。ブレードやサテン・リボン、ボタンなど付属品にも最高級品を搜します。徹底していいものを使うわけですが、それで少々価格が上がつてもそれがお客様と店に対する誠意だと思っています」



“シフォン系のドレスは私が得意としているものです”と語る

瀧「その点神戸のお客さまは、素材に贅沢ですし、皆さんはよく知つてらっしゃいますよ。しかもお値段が、素材や縫製からみて決して高くないんです。適正価格——ということをかなり意識しておられますね」

天野「私は布地をパリやイタリアで直接ユダヤ人から買いつけるので三分の一くらいの価格です。東京では安すぎるといわれるぐらいですが、私としては多くの方に着て頂きたいのです。一時期、舶来品であれば高価でも売れていましたが、意識革命が起こって、消費者はものの値打ちで判断されていると思いますね」

——どんな女性を対象にデザインされているのですか。

天野「年齢的な対象はないのですが、可愛くても精神的に大人になっている女性。甘い、辛いのテイストが見分けられる女性にアピールする服を創りたいですね」

瀧「先生のアトリエへは、以前神戸にも住まれていた映画評論家の小森和子さんがよくみえていますね」

天野「彼女は、とってもモダンで魅力的なおばちゃんまです。良い意味で女性の中の女性って感じです。東京にはオートクチュールのお客さまが多いんですよ」

——コレクションはいつも東京で催されるのですか。

天野「一年、ビバリーヒルズでショーをしました。ロデオ通りのブティックでも好評で、その時は色々なマスコミに取材されました。ぜひ神戸でもやりたいですね」

——正統派ファンションは却つて新鮮に感じますね。天野「日本では、芸能界でもファンションでも話題になるのは年齢層が低い人を対象とした物が多いんですね。だから正統派デザイナーが育たないんでしょうね」

——最後に、好きな女性像をお聞かせください。

天野「より美しくなりたいと願望している女性。例えば良い服をみると、それに合わせてシェイプアップしようとする女性って美しいと思う。自分の美しいシルエットを鏡に映したときの満足感ってお金に換えられないものでしよう。そして素直でハートのある女性が好きですね」

KOBE FASHION SPOT

★手づくの家具の工芸 ■一ノ作

オリジナル家具で知られる江戸屋では、創業100年に亘る今年を機にマーク二新した江戸屋は一八八二年に創業以来100年に渡り、和風家具、欧風家具、洋風家具などいずれの分野においても品質を厳選、その素材をファッショニン性豊かに仕上げるまで、手づかりの伝統を守ってきた江戸屋の家具マーク一新。



## 新しい江戸屋のマーク

□本店／兵庫区塩本通2-1-1  
—3120 インテリアハウス 電575-  
0054

神戸の若手店舗の間で、ファンション関係者が集まつて、「ガガツ」にやられた、「25の会」を、昨年末にスタートさせた。メンバーの一人セント・街「アルフィー」の山田恭正さんは、「今まで、神戸では仲奸よく研議する会が多いのですが、もう一步つ込んで、お互いのケツの毛までミシリ合はう」と語る。

語る。  
第2回は、春に  
有馬で一泊してお  
互いにカンカンガ  
クガクやりたいそ  
うだ。ちなみに会

工藤恭孝、崔康來  
石田耕一、大村武

雄さんらも参加している。

カジュアルにアートを楽しもう

1月25日オーブンした。

★ニットコロクションへ3名様ご招待  
ユーティクナ・デザイナーズ・コミュニーンは、ニットコロクションへ3名様ご招待  
ト・ユーティクナ・デザイナーズ・コミュニーンは、ニットコロクションへ3名様ご招待  
にこだわらず、大きな場に広げようと毎回趣向を凝らしているが、4月は関西で人気の高  
い劇団「そとばこまち」とジョイン特設する。  
『Alice-Nights』と題したフレッシュな劇  
造の世界が楽しめます。



とき / 4月22日

上田太郎

ファイブ  
8(F)  
チケット／一般￥200  
構成／つみつくろう 演  
※このコレクションに袖  
名様をご招待します。ご  
葉書でお申込み下さい。  
をお送りします。

★サ・ジバンシィ・ショード  
'83春・夏物特別オートクチュールコレクションが催され、ジバンシィ、オードリーヘップバーン等が来日します。30周年の業績を記念するした力作揃いの迫力あるショーです。

■ A ¥7,000 B ¥5,000

とき／3月5日(土) 11AM、1:30PM

■ ところ／神戸大丸B1F外商サロン  
■ ジバンシィオートクチュールコレクション

とき／4月1日(金) 11:30 A.M.、2 P.M.  
4 PM 於大阪フェスティバルホール

11 A.M. 3 P.M.

## 大里最世子・市野木江充子 と春異しせ二K会

ONE WAY / 中央区北長狭通3丁目11-15 東亞外語学院ビル 1F 電331-3378

「おしゃれな神戸のミセスにこんな服を着てもらいたい!」という願いを込めてニットデザイナーの市野木江充子とコットンが大好きで、な大里最世子が恒例のジョイントとコレクションを催す。『バラレル・ワールド』と名付けられ、二つ目は

**大里最世**  
したいところ、北野町の  
異人館セントジョージで  
春の屋下がりを。

11AM 3PM  
ところ／セントジョージ・ジャパン  
※神戸っ子愛読者を20名ご招待します。お葉書  
書でお申し込みください。



80th ANNIVERSARY  
時を重ねることに美しい

## ときめいて春の祝祭日

プリマヴェーラの花々、  
香ぐわしく、あふれ、  
睫毛の上で、光はやさしく微動する。

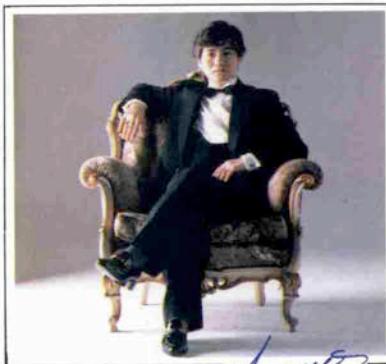


# serizawa

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL.078-331-1695  
■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■メンズセリザワ  
KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI

サン・ミヨシヤがKOBEのおしゃれな女たちに贈ります

天野武文の  
甘美な世界  
'83年春・夏



Takafumi Amano

DU TOUT PREMIER CHOIX DU MONDE

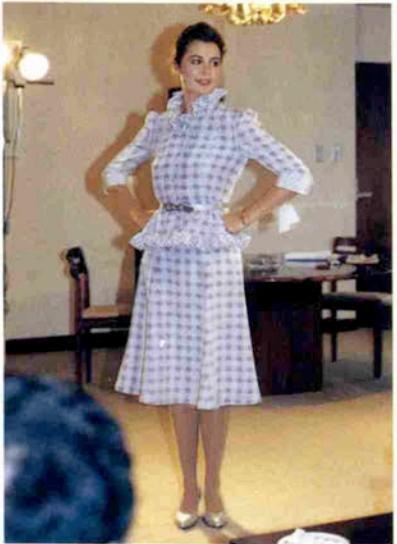
*San Miyoshiya*

舶来雑貨  
サンミヨシヤ

〒650 神戸市中央区三宮町3丁目1番3号  
TEL. 078・332・5361



▲スリーピース（ブラウス／シルクオーガンジー、  
スカート／綿50%・麻50%）￥11,800  
▲ワンピース（シルクオーガンジー）  
￥11,800



スーツ(シルク100%)¥158,000



ワンピース(綿50%・麻50%)¥63,000



ワンピース(レーヨン85%・麻15%)¥59,000



ワンピース(綿100%)¥78,000



スリーピース(綿50%・麻50%)¥128,000



スーツ(上/麻100%・下/レーヨン100%)¥98,000

## ●KOBE EXCELLENT SHOP 《Sanohe》

ハイクオリティな舶来品ブティック



スープルサノヘ



写真の商品はイタリアの人気ブランド「MANI」  
本店／☎ 331-4707  
スープルサノヘ／☎ 332-1710  
トアロードサノヘ／☎ 331-1959

昭和6年に創業された舶來雑貨の老舗で、現在、本店、スープルサノヘ、トアロードサノヘの3店がある。早くからハイクオリティな舶来ものを扱っており、日本でも有数のブティックとして神戸のハイカラ文化を育んできた。

最近は「マニー」「クリッツィア」「バジーレ」「バラ

シユート」などのブランドを紹介しており、独自のオリジナリティあふれる商品構成が楽しく、婦人もの紳士ものをトータルファッショングで揃えている。

「品質の良いものと、常に新しいファッショング感覚のものという両方の視点からセレクトしています」と葦原博之社長。

本店、トアロードサノヘでは若い人向けの新ブランドも近々お目見えする。

ハイカラ神戸の伝統が育んだ格調ある専門店

●このシリーズはファッション都市KOBEへの私たちの願いをこめて....

★婦人帽子

**マキシム**

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 ☎331-6711

★舶来品ブティック

**Sanohe**

神戸市中央区元町通2丁目5-7 ☎331-4707

★欧風家具・設計・創作

**永田良介商店**

神戸市中央区三宮町3丁目1-4 ☎391-3737-9

★本格派の人々に愛される

**ヨシオカ**

神戸市中央区三宮町3丁目1-9 ☎331-5190

★オートクチュール

**ユスター・ニュートン**

神戸市中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1818

★世界のオシャレをお届けする

**ウネ**

KOBE LINE  
神戸市中央区元町通1丁目4-13 ☎331-3112

★よろず御襷衣縫上處

**神戸シヤリ**

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 ☎331-2168



MANI



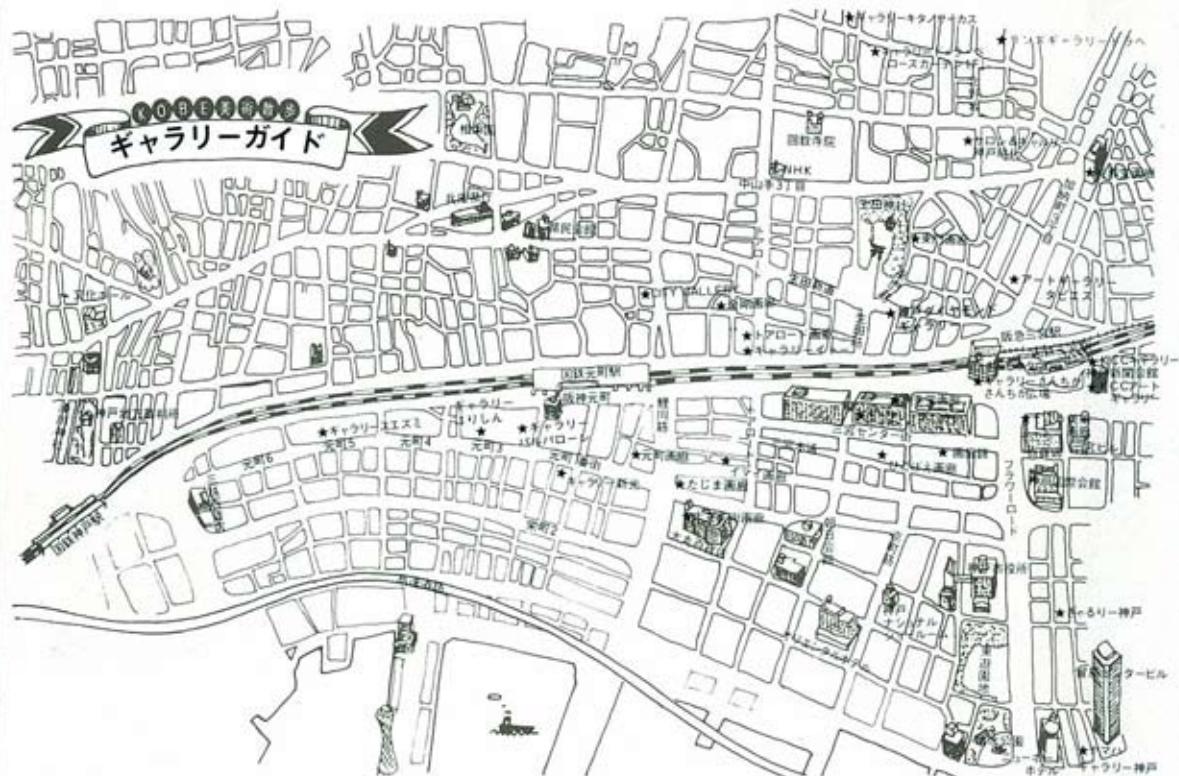
Krizia



'83 SPRING & SUMMER COLLECTION

Sanohe

ヌーベルサノヘ / 元町1番街 TEL.078(321)1710



書廊 藥	画廊 錦	ギャラリー あじさい	SALON & GALLERY (北野坂) 神戸時代	ジョイント ギャラリー
3/6-6 神戸朝日カルチャー せんび神戸会 1回展 8-13 福井義信陶器 (多治見焼) 15-20 第3回百点満展示 22-27 鈴木翠芳写真個展 29-31 日幡光嗣・寿・子アート展 (備前焼)	3/31~4/5 萌芽会油彩展		常設展	常設展